

令和6年度 第3回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和7年1月7日（火） 午後2時5分から午後3時15分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：7名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 山中 冴子 副委員長
- ③ 浅野 永子 委員
- ④ 加藤 恒 委員
- ⑤ 関根 公一 委員
- ⑥ 中川 敬三 委員
- ⑦ 羽諸 英臣 委員

〈事務局：13名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|--------|
| ① 館長 | 岸 聖一 |
| ② 参事兼副館長 | 井出 浩史 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長 | 山田 浩行 |
| ④ 事業・企画係主査 | 蜂谷 香織 |
| ⑤ 事業・企画係主査 | 曾根 啓佑 |
| ⑥ 事業・企画係主事 | 小暮 裕貴 |
| ⑦ 社会教育指導員 | 渡邊 京子 |
| ⑧ 社会教育指導員 | 永井 紀美子 |
| ⑨ 青少年宇宙科学館 | 内山 賢一 |
| ⑩ うらわ美術館 | 松原 知子 |
| ⑪ 大宮西部図書館 | 松尾 紀子 |
| ⑫ 大宮西部図書館 | 岡田 貴男 |
| ⑬ 博物館 | 矢野 慧太 |

4 欠席者名

〈委員：5名〉

- ① 青木 光美 委員
- ② 川又 伸彦 委員
- ③ 桑原 静 委員
- ④ 関根 広美 委員
- ⑤ 平田 利雄 委員

5 報告事項

(1) 前回の議事録について

6 協議事項

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース(案)について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 報告内容

(1) 前回の議事録について、事務局から報告した。

10 協議内容

(1) 令和7年度さいたま市民大学各コース(案)について

事務局より、教養Ⅰ・Ⅱ、さいたまの魅力Ⅰ・Ⅱ、環境・交通、メディカルの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【教養Ⅱコース】

浅野委員	小学生が対象ということであれば、自由研究に使える、といったPRができるといい。また、SDGsの11番が「住み続けられるまちづくり」であることから、SDGsと関連していることもお知らせできると講座の魅力が上がるのではないかな。
山中副委員長	子どもを対象とした講座が一つ増えたことになるが、子ども対象の講座数についての決まり等はあるのか。市民大学としての子ども対象講座数の考え方を教えてほしい。
事務局	基準はなく、講師の専門分野を勘案してこうした内容となった。

山中副委員長	子ども向けの講座が増えるということは、大人向けの講座が減っているということだと思うので、そのバランスに配慮したほうがいいのではないかと思います。
神保委員長	市民大学の趣旨として高度で専門的な内容、他の講座より一歩進んだ内容、という前提があると思うが、大人向けの講座が減り子ども向けの講座が増えたことでそのバランスに影響があるのではないか。第2回委員会で示された案の受講対象者と、今回案の対象者がかなり変わっているので気になった。
羽諸委員	小学生対象ということで、保護者も加わる部分があると思う。親目線でのまちづくりとして防災等の観点を加えるのもいいと思う。

【魅力Ⅱコース】

浅野委員	盆栽美術館はリニューアル中だと思うが、リニューアル前後で展示内容等変わった部分があれば、この講座で紹介していただけるといい。
------	--

【環境・交通コース】

神保委員長	対象者に小学生が加わっているが、これは対象の幅を広げただけで大人も参加できるのか。
事務局	その通り。

事務局より、市民企画、地域ボランティア、生成 AI、IT スキル、プログラミング、パソコンの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【地域ボランティアコース】

中川委員	費用が無料になっているが、何か理由があるのか。
事務局	講師との調整により、ボランティア養成ではなく、ボランティア活動のきっかけとなるような講座にすることとした。講座の趣旨に鑑み、きっかけづくりとして多くの方が受講しやすいように無料とした。
中川委員	別のボランティア関係の講座では有料のものもあったと思う。有料とする講座と無料とする講座の基準を明確にした方がいい。

【IT スキルコース】

浅野委員	Canva のようなツールを初めて利用する方は、「グラフィックデザイン」という言葉に躓いてしまうといったことがあるかもしれないので、何が作れるのか具体的な例示があった方が分かりやすいと思う。
------	---

【パソコンコース】

関根委員	パソコン講座は市民大学以外にもたくさんあるが、他の講座と比べてパソコンコースの受講料は妥当なのか。 また、市民大学でパソコンコースを実施する意義は。
------	---

事務局	受講料はさいたま市民大学の基準に則って設定している。 ただし、パソコンコースはテキスト代を含めた金額を記載しているため他の講座と差異がある。 基準は他市の類似事業を調査したうえで定めており、十分な妥当性があると認識している。 パソコンコースは市民ニーズも高く、当センターのOA研修室という環境を有効に活用でき、また、講師のNPO法人パソボラさいたまはセンターの養成講座から発足した団体であることから、学びを活動につなげて市民に還元している好事例であると考えている。
-----	--

青少年宇宙科学館、うらわ美術館、大宮西部図書館、博物館より、科学、美術、文学、歴史の各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【科学コース】

浅野委員	定員が12人で講座が3回だと、途中で来られなくなったりモチベーションが上がらなくなったりした受講生がいたときに、やる気のある受講生にも影響が大きいように感じる。3回の間に受講者が減らないよう、「必ず3回参加できる方」と記載する、申込みの際に志望動機を書いてもらうなどの工夫ができないか検討して欲しい。
------	---

【美術・文学コース】

加藤委員	タイトルのつけ方が上手であると思う。テーマや内容も分かりやすく、気持ちに訴えかけるようなよいフレーズを使っている。 他のコースでも、テーマをもっと柔らかく、キャッチーな表現にできるとよい。
------	--

【歴史コース】

関根委員	地域について深掘りしていく講座内容は素晴らしいと思うが、各回講師が変わる中で、講座概要にある“様々な歴史資料とその分析を通して浮かび上がる、さいたま市の個性”は本当に浮かび上がるのか。深く掘り下げ、筋の通った講座にするための企画者の工夫を伺いたい。
博物館職員	個性については、本市の史料や本市で起こった特徴的な出来事を取り上げ、本市についての理解を深める内容となるよう講師と調整しているところである。
神保委員長	講座内容については、講師主導というより主催者主導で企画しているように見受けられる。 忙しい人も多い中で5回の連続講座というのは長いのではないか。欠席者はどのくらいいるのか。
博物館職員	確かに欠席者はいるが、それでも8割以上の方は出席してくださっている。 また、欠席者には欠席回の資料をお渡しするなどのフォローを行っている。

【文学・歴史コース】

中川委員	継続的に同じ時代のテーマを取り扱っていると思うが、これまでの実績やアンケートから内容を改善した点などはあるか。
西部図書館職員	講師の専門分野が江戸時代なので連続して江戸時代を扱っている。講座では講師私物の研究資料を見ることがもできるので、受講生アンケートでも評判がよく、同じ講師の講座に参加したいという声が多くある。
博物館職員	例年申込者が大変多いため、広い会場である生涯学習総合センターでの実施としている。アンケートでは、本市について掘り下げて学びたいという声があることからこうしたテーマにしている。 ただ、内容が専門的すぎるという声をいただくこともあるため、講師には最初にダイジェストで簡単な内容を示していただいてから、内容を掘り下げていって欲しいとお願いしている。

1 1 その他

令和7年度さいたま市民大学募集案内の送付予定について案内した。

1 2 閉会